

地域企業紹介 その 22  
株式会社フードケア

## 食を通じて高齢者の QOLに貢献する

個人が人間らしい生活や自分らしい生活を送るQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上を念頭に、介護や疾病の分野で食を通じて貢献しているフードケアの竹内豊社長を中央区相模原の本社に訪ねました。

竹内社長は昭和30年広島県福山市に生まれ、大阪市立大学商学部を卒業後製薬メーカー、福島病院の事務長を経て大手食品メーカーで社内ベンチャーとして介護用食品の開発と販売に10年間携わる。

人が生きてゆくためには食事は欠かせないこと。健康者であれば当たり前の食事が、要介護3.5~5の人にとっては、水を飲むことも容易ではない。そうした困っている人を手助けしたいとの思いが募り、また、勤めていた大手食品メーカーではその事業に専念することができなくなったため退職し、フードケアを1997年に創業した。

最初の商品は脳卒中などで嚥下(えんげ)障害を持つ人の誤嚥(ごえん)を防ぐ『とろみ調整食品』。「嚥下障害」や「誤嚥」と言う言葉が今ほど知られていない時代であり、とろみを付けることが誤嚥防止に役立つことも理解されていなかったため販売には大変苦労したようだ。この商品に注目し、最初を買ってくれたのは子どもの重度障害の施設だった。水、お茶、牛乳、流動食などに加熱することなく簡単にとろみをつけることができるとろみ調整食品は今では病院や福祉施設などでほぼ100%使われるようになっている。

また、高齢化が進む日本では、誤嚥性肺炎が高齢者に多く発症し、再発を繰り返し、優れた抗生物質が開発された現在でも、多くの高齢者が死亡する原因となっている。その対策として誤嚥を防ぐとろみ調整食品の普及が進んでいる。フードケアは要介護3~4の高齢者のために全粥をお寿司の形にした「やわらかしゃりソフトシリーズ」を開発した。お粥から分離する水は誤嚥の元であるため、離水せず、しかも日本の食文化である目で楽しみながら食事出来るように「にぎり寿司」の形を提案したもの。

(2面につづく)

株式会社フードケア  
代表取締役 竹内 豊  
所在地：相模原市中央区相模原4-3-14  
従業員数：25名 資本金：1千万円  
売上高：3.4億円(平成23年度実績)  
事業内容：介護医療食品開発・販売

同社は現在、介護食品の業務用シェアは国内でトップ。昨年から大手食品卸とのコラボレーションで在宅看護用の介護食品をドラッグストアで販売している。商品開発には非常に積極的で、全国5,000軒以上のユーザーより高い評価を頂いている全粥ミキサーの嚥下適性の問題点を解消した「スベラカーゼ」(特許取得)を開発したり、大学や専門の医療機関と二十数件に及ぶ共同研究を行っている。将来は食品に止まらず食に関する幅広い分野に挑戦していきたいと意欲的だ。

小さなワンルームマンションの事務所で夫妻二人ではじめた会社も15年間で売上3千万円から34億円と大きく成長した。

竹内社長は、お客様に直接関わる営業がしたくて大学では商学部に進んだそうだ。今、経営者としての喜びは、End userに直結したこの仕事ができること。社会的にどれほど重い責任を

持つ仕事であるかを謙虚に受け止め、「口から食事をとる」事で「自分らしく生きる」ことを介護・疾病などの分野で提案し続け、お客様の声を商品開発に繋げる為に日々努力をしている。



特許取得している「シャリソフトシリーズ」と「スベラカーゼ」

## 接着をデザインする

ヤマザキ材料開発研究所(代表 山崎 哲氏)は、『接着』をコア技術とし、メーカーの新材料・新プロセスの開発をサポートする研究所である。

山崎氏は、長年勤務していた接着関連企業が商社からメーカーへ業容拡大していく中で、技術者としてエレクトロニクス分

野の新しい機能を持つ接着剤を開発してきた。2008年2月の定年退職後、会社の枠組みにとらわれず、培ってきた人脈・ネットワークを生かし、世の中に求められる材料を開発すべく「ヤマザキ材料開発研究所」を設立し、事業展開を図っている。

接着剤は、各種の材料を組み合わせた製品づくりには必要不可欠で、多くの産業分野や生活分野で使用されている。中でも、近年、工業分野で果たす役割は多く、接着剤が機能や品質向上、生産工程や生産時間の削減などに寄与している。

例えば、FPD\*の生産工程に使用することを目的に開発されたUV硬化型接着剤は、FPDの大型化に対して、従来の液晶注入プロセスを、液晶をガラス基板へ滴下し封入するプロセスへ変換することを可能にし、従来型生産方法に比較して大幅な時間短縮効果を得ることが出来たという。

現在、取り組んでいるのは、接着機能を必要とした新機能材料開発で、特にリチウム電池関連の材料開発及び技術サポートを行っている。

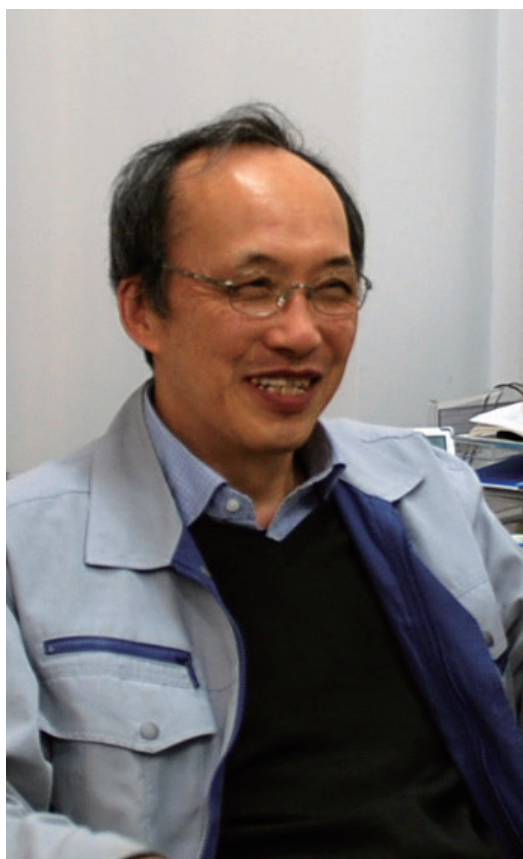
### 入居企業紹介 27 ヤマザキ材料開発研究所

近年、モバイル機器・ノートPCなどから電気自動車まで使用分野が拡大しているリチウムイオン電池において、一例として、セパレータ等の有機材料に無機材料を極めて薄く塗布(接着)する工程などが開発検討されている。

このような異種材料を接着させる点で重要なのは、「界面」である。界面を観察すれば製品の技術課題が明確化し、新しい接着材料開発においても、界面の状態観察が開発の方向性を見出すことになる。

山崎氏は、「接着技術の役割を、境界領域を持つ機能材料開発の要素技術と製品プロセスを革新的に変え、新しい価値を創造する為の要素技術の2点に位置づけて、新しい機能を付与させた高付加価値のある接着材料を開発していきたい。そして、各企業・事業体が協力し相互の価値を高めながら、社会的意義のある新たな価値を創造してゆくことに貢献したい。」と、開発関連文献や資料とともに、新機能に当たりを付けるべく材料・ピーカー・フラスコなどが整然と並ぶSICの研究室で、抱負を語っていただきました。

\*FPD Flat Panel Display フラットパネルディスプレイ



# 「がんばる中小企業をとことん応援！」



公益財団法人  
相模原市  
産業振興財団

Sagamihara  
Industrial  
Promotion  
Foundation

相模原市産業振興財団（以下、財団）は、相模原市内の産業振興を図るため、平成4（1992）年8月に、相模原市と相模原商工会議所の出捐により設立されました。今年の4月には、公益財団法人に移行し新たにスタートしています。理事長は引き続き河本洋次が務めますが、4月には森山事務局長が、5月には村上常務理事が就任し、運営体制においても新体制となっております。

## 〇市の産業施策の担い手として。

財団の活動範囲は、旧津久井4町との合併に伴い新相模原市全域となりました。山梨との県境から旧市街までの広範囲になっています。財団は、相模原市の産業施策の担い手として様々な事業を展開して活動中です。

## 〇ものづくり企業の成長を支援します。

財団の中心的な事業として、「ものづくり企業総合支援事業」を実施しています。今年度は、中小企業診断士の資格を有するコーディネータ3名がものづくり企業を訪問し、技術開発・販路開拓・海外進出といった様々な経営課題をサポートするとともに、国や大学・研究機関などとも連携し、ものづくり企業の経営と成長を総合的に支援しています。支援した企業が市のトライアル発注認定や経営革新を受けるなどの成果が上がっています。

## 〇ものづくり企業の販路開拓も応援します。

ものづくり企業が販路開拓のために国内外の見本市に出展する費用の一部を補助する「見本市出展助成事業」や、先進的な技術



## ものづくり企業を支援する若手コーディネータ

後列左から  
大西コーディネータ、山崎コーディネータ、伊牟田アドバイザー、西村コーディネータ  
前列左から 村上常務理事、森山事務局長

や製品を有する中小企業を取りまとめ、東京ビッグサイトなどに共同出展する「国内展示会相模原ブース出展事業」なども実施しております。相模原ブース出展については、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の相模原キャンパスの協力を得るなど、地元企業とJAXAの架け橋となる活動も行っています。

## 〇創業を通じた地域の活性化にも取り組んでいます。

財団では、地域経済を活性化するため新事業の創出にも力を入れています。創業のための相談会やセミナーを開催し、SOHO支援事業やコミュニティビジネス推進事業などの業態や経営の手法に応じた支援を行っています。

私共、産業振興財団は、地域企業のために、これからも「進化」してまいりますので、ご期待ください。

## 八王子城跡

天正18年(1590)6月23日、豊臣秀吉の関東制圧の一環で、前田利家・上杉景勝軍に攻められて落城した八王子城跡を訪れました。八王子城は戦国の山城としての状態を良く残していることなどから、日本100名城に選定され、国指定史跡でもあります。御主殿近くの滝には、悲惨な落城の時の話があり、心霊スポットとして知られているようです。とても写真を撮ることは出来ませんでした。

津久井城址にもありましたが、八王子城址の本丸跡にも大きなもみじの木があります。移ろい行く歴史に似合うのかもしれない。



本丸へ向かう途中

東京都心、横浜方面が見渡せる

本丸跡の紅葉

八王子城跡自然公園入口

天狗?

ち とってもとっても ちいさな旅

南西フォーラム分科会

**2nd** 1月22日(火)

モノづくり企業のための  
**宇宙科学研究会**

Society for the study of Space Science

日 時：平成25年1月22日(火) 18:00-20:00  
場 所：相模原市産業会館(3階 大研修室)  
定 員：50名 入場無料  
テーマ：宇宙科学研究における工学分野の役割  
～電気系と機械系の連携について～  
講 師：宇宙飛行工学研究系助教 丸 祐介 氏  
航法・誘導・制御グループ開発員 清水 成人 氏  
\*詳しくは、南西フォーラムホームページ <http://nansei-forum.jp> をご覧ください。

# 創蓄省

創・蓄・省エネフォーラム  
かながわエネルギー関連ベンチャー

## 第2回 かながわエネルギー関連ベンチャー 創・蓄・省エネフォーラム

今回は、技術的課題の解決や知財戦略の検討、新たな提携・連携先の発掘等を支援し、エネルギー及び環境関連産業の更なる振興を図る目的で、創エネ・蓄エネ・省エネを一挙に兼ね備えたシステムである燃料電池にフォーカスし、システムメーカー及び大学の専門家を招きし、フォーラムを開催予定です。

日 時：平成25年1月29日(火) 13:00～16:30  
場 所：サン・エールさがみはら(2階 第1研修室) ※入場無料

1月	SICイベントカレンダー	2013年1月～
2013年1月22日(火)	第2回モノづくり企業のための宇宙科学研究会(第2回)	
1月26日(土)	日本・台湾 アライアンスセミナー(東京会場)	
1月29日(火)	第2回かながわエネルギー関連ベンチャー 創・蓄・省エネフォーラム	
2月 1日(金)	日本・台湾 アライアンスセミナー(神奈川会場)	
2月 5日(火)	SIC経営者セミナー	
2月 6日(水)～8日(金)	テクニカルショウヨコハマ	
2月 8日(金)	第25回南西フォーラム	
2月15日(金)～22日(金)	インターンシップ	
3月16日(土)～7月20日(土)	SICカイゼン研究会	

knock! knock!  
入居企業を募集してます。

**SIC 空室情報** (12月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(賃料：共益費込み)

部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-1 スモールオフィスB	17.3㎡	2 61,320円
SIC-2 セミラボ	50.2㎡	2 164,850円
SIC-3	現在、空き室はありません	

# 日本 台湾 アライアンスセミナー

JAPAN-TAIWAN Alliance Seminar

日 時：東京会場 平成25年1月26日(土) 13:30～17:00  
場所：法政大学

神奈川会場 平成25年2月1日(金) 13:30～17:00  
場所：サン・エールさがみはら ※入場無料

内 容 日台アライアンスの可能性—電子産業における日台中の構図  
台湾・新竹地域におけるベンチャー企業の実態と創出環境  
台湾展開する日本中小企業から学ぶ

\*詳しくは、SICホームページ <http://www.sic-sagamihara.jp> をご覧ください。

SIC Sagamihara Incubation Center

平成25年(2013年) **2月5日(火)**  
**16:00-19:00** (15:30より開場)  
サン・エールさがみはら  
(2階 第1研修室)

**経営者セミナー**

日 時：平成25年2月5日(火) 16:00～19:00  
場 所：サン・エールさがみはら(2階 第1研修室) ※入場無料  
内 容 基調講演「企業経営とカイゼン活動」  
トヨタ自動車株式会社 元副社長 石坂 芳男 氏  
カイゼン活動の成果事例紹介：  
株式会社カイゼン・マイスター 代表取締役 小森 治 氏  
\*詳しくは、SICホームページ <http://www.sic-sagamihara.jp> をご覧ください。

**「SICカイゼン研究会」 始まります。**

「SICカイゼン研究会」 始まります。

会 期：平成25年3月16日(土)～7月20日(土) 全10回  
会 場：SIC 大会議室 または サン・エールさがみはら会議室  
対 象：製造業・サービス業で、現場でのカイゼン活動に取り組みたい企業(5社程度)  
講 師：株式会社カイゼン・マイスター

編集後記

今年初めて開催した「女性力発揮セミナー」も盛況のうちに終了。昨年暮れにオープンしたSIC-3もおかげ様で満室となりました。これまでに色々な方々との出会いがあった年でした。そして、平成25年も更に多くの方々との出会いがある事を信じています。

皆様、新しい年を迎える準備は万端でしょうか。SICは、年明けの1月、2月のイベントの準備で大忙しの様相です。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>